



みわを元気に

三和地域協議会ニュース 第18号 平成30年3月15日発行

三和地域の人口・世帯数	
男	1,646人
女	1,726人
合計	3,372人
世帯数	1,699世帯
(平成30年2月末現在)	

発行：三和地域協議会
編集：広報編集委員会

三和の現状と可能性を伝える

― 三和中「JOBガイダンス」で協議会から ―

三和中学校の生徒に、もつと地域の様々なことを伝えることによりこれからの進路選択に生かしてもらおうと、2月23日金曜日の1時限に「みんな知ってる？三和のこと」と題して、三和地域協議会から岡部成幸事務局長がお話をしました。

授業の対象は三和中の1年生10人と2年生16人の計26人。学習のねらいは、「仕事に就く大変さや働くことの意義を知ると同時に、実際の経験談を聞かせていただき、望ましい職業観や勤労観の基礎を築かせるとともに、今後の進路選択に向けて日々の学校生活を充実させる」として、お話しを聞いて、生徒たちに

この日の授業では、はじめに福知山市の成り立ちと三和地域の現状などに触れ、最近変わりつつあるいくつかの状況について紹介しました。

まず、三和の工業団地（長田野工業団地）アネックス京都（三和）に次々と新しい企業立地が決まっていること。

またその企業は、理系の大学院卒業者を多く採用する予定であることなどを説明しました。

次に、三和地域で移住者を中心に新しい形の農業経営をめざす若者が増え、「食べられる農業」の可能性が開かれていることを紹介しました。

一方、福知山公立大学の開校や京都工芸繊維大学の誘致などにより、京阪神に比べても一定レベルの高等教育が受けられるようになったことも伝え、「三和で暮らす」ことの選択肢や可能性が大きく広がっていることも伝えました。

まだ中学1・2年生ということで、差し迫った問題として自分の進路を考えることに結びついていないかもしれないが、このような授業を通じて「何もないから出て行くのが当たり前」のまちなかから「様々な可能性と選択肢がある」という意識が生まれ、変わっていくべきではないかと感じました。



熱心に話を聴く生徒たち

小中一貫校愛称

「三和学園」に決まる！

称が寄せられ、その中でも「三和学園」が14人と最も多く「なじみややすい」「シンプル」などの理由として選ばれました。

去る2月9日、来年4月の三和町小中一貫校の開校に向けて三和会館で第3回総会の愛称が「三和学園」に決まりました。

愛称については自治会長やPTA、地域協議会などの住民でつくる設立準備委員会が、統合対象の菟原小と細見小、三和中の在校生や卒業生たちから公募し、96人から62種類の愛



第3回総会での様子

平成30年度 第5回三和地域協議会

総会 & 記念講演のご案内

とき 4月14日(土)
午後 1:30～4:30

みなさん是非お越しください！

場所 三和荘多目的ホール(三和町寺尾権現4)

第1部 第5回総会
1:30～3:00

第2部 記念講演
3:10～4:10

無料・申込不要

代議員以外の方にも傍聴していただけます。

記念講演テーマ

「新しい時代の福知山づくり」

講師 大橋 一夫市長



昨年12月からお休みしていた「みわふれあいカフェ」が4月6日から再開します。

毎週金曜日の（祝日除く）あさ9時から10時半頃までいこいの広場で開催します。

おいしい飲み物・美しいピアニの音色・笑顔で迎えるスタッフがみなさまのお

4月6日(金)
9:00～10:30
いこいの広場



越しをお待ちしています。
ぜひお越しください！

ネガティブに ちよとポジティブに。



福知山市役所
三和支所長
水谷 由紀

平成3年に三和に来ました。当時は、ガソリンスタンドも3か所、お店も各地にちらほら、柏餅の美味しいお店があったり、店番をしているおばさんや近所のおばさんの立ち話や笑い声、突然横断してあぶなっかしいおばさんがいたり、私自身もベビーカーを押して近所のおばさんとお話したり、のんびりしてましたね。

今は、いろいろ不便があっても、「私がおばちゃんになった頃にはこの三和町はどうなっているのか?」「若い人が田舎で暮らす時に求めるものって何なのか?」と、色々考えさせられる毎日です。

いがいと三和支所周辺は、本庁勤務の人も羨むコンパクトにまとまった場所です。

(本庁周辺は歩いてお買い物や食事に行くのに不便です。)

今、福知山市では「いがいと福知山」を一生懸命探していますが、「いがいと三和って暮らしやすいよね」という状況の維持が必要かなと思います。

しかし、すっかり静かになっ

てしまっただ下ノ段ですが、ここのところ、子供の数も増えて少し明るくなり嬉し



いがいなステキに出会えるまち
福知山

空き家しらべについで 定住促進・情報発信部長 和田 憲幸

三和地域協議会が産声を上げた前日、平成27年3月31日現在の三和町の人口は男性1778人、女性1862人で計3640人、1712世帯でした。

最新の平成30年2月末現在と3町合併時平成18年1月で比較すると（表参照）いずれも人口の減少が進んでいます。

加えて最近町内唯一だったガソリンスタンド、スーパーが共に閉店のやむなきに至る事となり、私たちが暮らしていくうえで大変残念な事態となりました。

	H17年12月末	H30年2月末	増減数
男	2,130	1,646	▲484
女	2,270	1,726	▲544
合計	4,400	3,372	▲1,028
世帯数	1,710	1,699	▲11

これと並行して「空き家募集」の記事を地域協議会の機関紙に掲載したところ、所有者から「売却したい」との連絡があり、売買成立・入居という大変うれしい出来事もあり、最近では、民泊経営希望の方が三和地域で空き家を探しておられたり、農業に興味を持ち定住したいと試みている青年も居られます。

4月から地域協議会は4年目に入り、当部会は前年度に続いて「空き家ツアー」を実施しました。そのうえで、部会として所有されている方に売却、賃貸、非売等の意思確認をし「売却」「賃貸」をご希望の場合は、所有者と移住希望者との間の橋渡し役ができれば、と考えています。

日々の住民生活に支障をきたすような状況をこれ以上重ねるわけにはいきません。当部会は平成29年度の事業計画の一つとして「空き家の把握」を挙げ、地域協議会の他部会の皆さんの協力も得て空き家を把握し、移住希望者をマイカーでご案内する「空き家ツアー」を実施しました。

三和町内の空き家の把握と、「空き家ツアー」を充実強化していきたいと思っております。しかしながら部会で町内全域を把握するのは難しく、限られた地域にとどまっております。この問題を解消するには、それぞれの自治会を担い地域を代表する自治会長のみならずのご理解とご協力を頂きながら一緒に取り組んでいくことが不可欠であることから、過日の自治会長会でお話しし、それぞれの自治会内の空き家調べをお世話になることとなりました。

絶品！「川合のこんにやく」

生産・販売スタートしました！

川合地域の万願寺甘とうの収穫作業をしているささゆりグループ（堀川成子代表・10人）が「過疎化する地域を女性の力で活性化しよう！」と、川合のこんにやく芋を使った商品作り、販売をスタートしました。



川合ささゆりグループのみなさん

土佐さんが4年がかりで栽培したこんにやく芋を使って、400年前から三和町に伝わる製法で1つ1つ心を込めて丁寧に作っています。

通常のものは凝固剤として炭酸ナトリウムなどが使われますが、川合のこんにやくは、こんにやく芋と稲のワラから抽出した添加物（灰汁）のみで作られ、癖のないやさしい味に仕上がっています。



風味ゆたかなこんにやく

食べ方は広島市の郷土料理「山ブゲ」のように刺身としていただくのがおすすめです。値段はパック詰め（2個入り）で税込250円。当面は毎月3・13・23日午後2時から5時まで千束の国道9号線沿いで開く「夕焼けマーケット」と川合ふれあいセンター内で毎週水・金曜日の午前中のみ「よってつ亭」で販売しています。みなさん、ぜひ一度召し上がってみてください。

福知山市地域おこし協力隊 きしこうろう 紀氏 浩太郎さん



「3年間の活動報告」

総務省の事業である地域おこし協力隊として福知山市より委嘱され、平成27年3月より京都市から友洲地区に来て、三和町の地域活性化に携わらせていただきました。平成30年2月末をもって3年間の任期を終えることとなりました。

この任期中は、三和ぶどうのジュースへの加工や販売、友洲地区でされている大阪府都島区友洲町との農村都市交流についてのお手伝い、昨年度開学した福知山公立大学との連携などを中心に活動を行ってまいりました。

今まで生食のみで販売されていた三和ぶどうですが、ジュースへの加工によって賞味期限が二週間程度であったものが一年間への長期化を図ることができるようになり、旬の時期だけでなく、通年で三和ぶどうの商品を販売することが可能になりました。



友洲農村都市交流の稲刈り体験

今後、耕作放棄地の減少や三和ぶどうの生産拡大について私共が任期終了まで務めることができたのは、地域や行政など多くの皆さんにご協力をいただくことができたからだと感じています。



新規ぶどう就農者さんの作業の様子



ラベルは公立大学生のデザイン

編集後記

3月にはいると途端に「春準備OKです」といわんばかりに、お日様の表情、草木の色、花のつぼみ、風のおい気あつという間に様変わりしますね。

土の中でスタンバイしていた球根たちもそろそろ中から芽を出しはじめ、春の訪れを今か今かと待っているかのようです。

けれど、雪降り積もる、北風吹く寒い季節があるからこそ春の訪れをより暖かく、愛おしく感じさせてくれるのだなあと思うます。

四季のあるところに生まれて本当に良かったとつくづく感じる今日このごろ。日常で素通りしがちないろいろなことでも、こころをだして気づかせてくれる。

毎年こころして季節の移ろいを感じられることって実はとても贅沢なことなんです。よね、きっと。



今年もやります

2018

みわ

子どもまつり

とき 6月3日(日)

くわしくは後日
お知らせします。